獨協医科大学 学校推薦型選抜（公募・地域特別枠）予想演習問題【小論文】

TMPS医学館 推薦対策模試セットA

時間：60分 ／ **形式**：課題文読解・要約および意見論述　受験番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

1. 本問題用紙の課題文を読み、答案用紙の所定の原稿用紙枠内に黒鉛筆またはシャープペンシルで記入しなさい。
2. 設問1は200字以内、設問2は400字以内で記述し、句読点や記号もそれぞれ1字として数えます。

課題文　**次の文章を読み、あとの設問1・設問2に答えなさい。**

医療の現場では、「患者の意思を尊重する」ことが当然の原則とされている。かつては、医師が最善と考える治療を決め、患者はそれに従うものだという考え方が一般的だった。いわゆるパターナリズムである。しかし現在では、医師が十分に説明をし、患者が理解したうえで同意する「インフォームド・コンセント」が重視されている。

ところが、この原則は思いのほか難しい。説明すれば患者が適切に選べるとは限らないからである。専門用語を並べて説明しても、不安のあまり内容が頭に入らない患者は多い。逆に、情報を丁寧に伝えたつもりでも、患者から「先生にお任せします」と返されることも少なくない。これは意思の放棄ではなく、医師への信頼の表れである場合もある。

また、患者の意思は固定されたものではない。ある高齢の患者は、手術を勧められても「もう十分に生きたから」と断った。しかし、家族や看護師と何度も話すうちに、本当は孫の成長を見届けたいという思いがあることに気づき、最終的に手術を受けることを選んだ。この例が示すのは、最初に口にされた言葉が、必ずしもその人の本心ではないということだ。

したがって、医師に求められるのは、患者の言葉をそのまま受け取って「同意を得た」と記録することではない。患者がどのような生活を送り、何を大切にしているのかを知ろうとし、時間をかけて対話を重ねることである。同意とは一度きりの手続きではなく、対話を通じて形づくられていく過程だと考えるべきだろう。そのためには、医師自身が説明の技術を磨くだけでなく、患者の価値観に関心を持ち続ける姿勢が欠かせない。

設問1　**筆者の主張を、200字以内で要約しなさい。**

※答案用紙【設問1】の枠内（20字×10行）に記入しなさい。

設問2　**課題文を踏まえ、医師として患者とどのように向き合うべきか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。（地域医療に触れてもかまいません）**

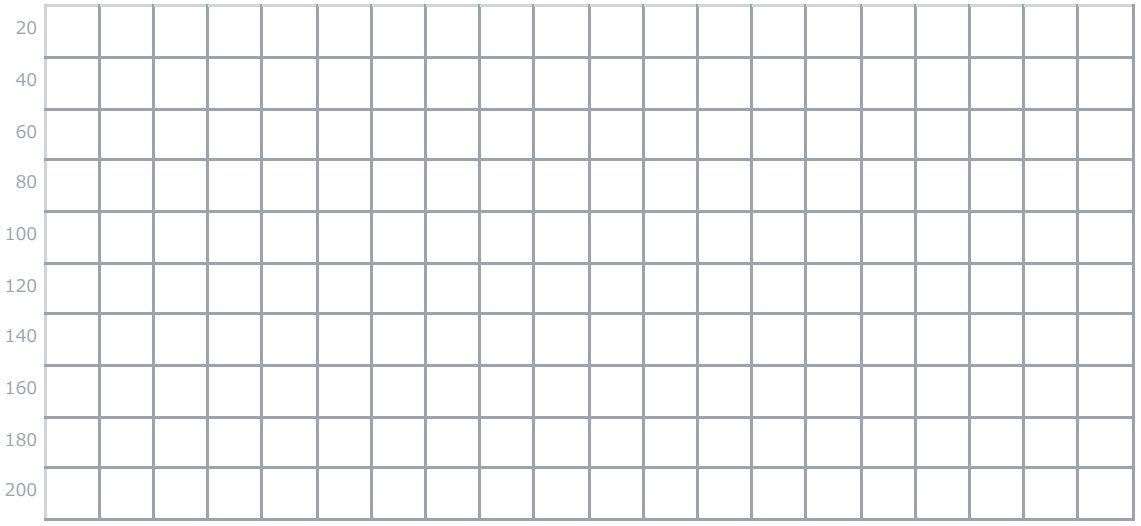
※答案用紙【設問2】の枠内（20字×20行）に記入しなさい。

獨協医科大学 学校推薦型選抜 予想演習【小論文 答案用紙】

受験番号：＿＿＿＿＿＿　　氏名：＿＿＿＿＿＿

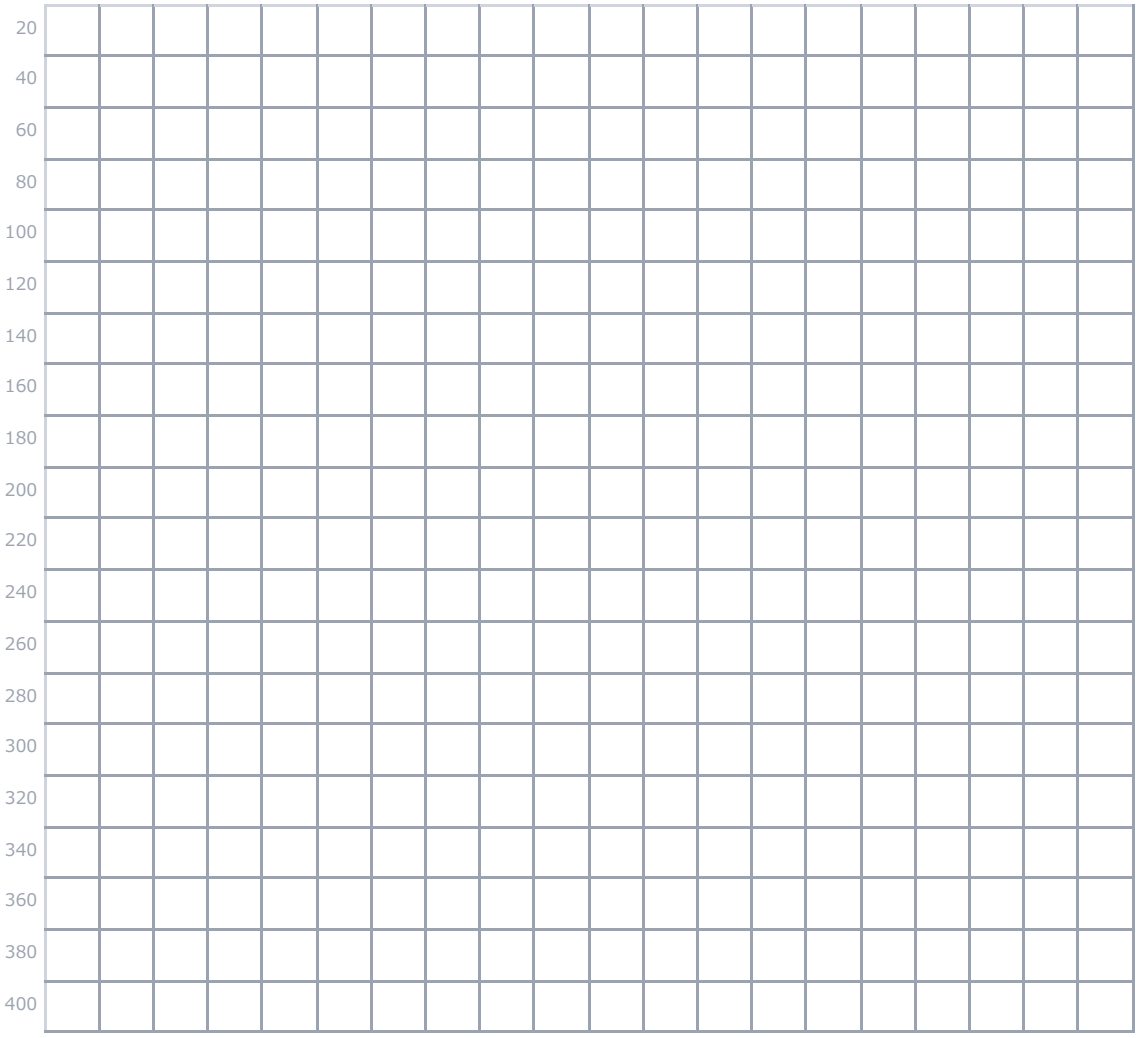
設問1 **200字以内要約**

20字 × 10行 = 200字



設問2 **400字以内意見論述**

20字 × 20行 = 400字



【TMPS小論文講師陣 個別記述アドバイス受付】

※手書き原稿用紙の写真をスマホで撮影し、公式LINEまたはWeb提出フォームからお送りください。担当プロ講師が論理構成や表現に対する個別アドバイス・改善ポイントを文章でフィードバックし、『模範解答例』と共にお返しします。